

第 7 8 回 新 潟 県 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会
兼 令和 7 年度全国高等学校総合体育大会新潟県予選会女子バドミントン競技大会
兼 令和 7 年度第 1 回国スポ候補選手選考会（少年の部） 実施要項

- 1 主 催 新潟県高等学校体育連盟
- 2 共 催 新潟県教育委員会 （公財）新潟県スポーツ協会 新潟県バドミントン協会
新潟市教育委員会
- 3 主 管 新潟県高等学校体育連盟バドミントン専門部
- 4 主 管 校 県立新潟高等学校 会 場 校 県立白根高等学校
- 5 期 日 令和 7 年 5 月 3 0 日（金）～ 6 月 1 日（日）
- 6 会 場 新潟市亀田総合体育館（新潟市江南区茅野山 3 丁目 1 番 1 3 号）TEL（0 2 5）3 8 1－1 2 2 2
新潟市豊栄総合体育館（新潟市北区嘉山 4 8 8 番 3 号） TEL（0 2 5）3 8 6－7 5 1 1
- 7 競技日程 5 月 3 0 日（金）
 - 7：30 開場・受付
 - 8：40 監督会議
 - 9：00 オーダー用紙提出締め切り
 - 9：10 開会式
 - 9：30 競技開始 学校対抗戦（ベスト 4 まで）
 - 17：00 競技終了（予定）
 5 月 3 1 日（土）
 - 8：00 開場
 - 9：00 競技開始 学校対抗戦（決勝まで）
個人対抗戦複（ベスト 4 まで）・個人対抗戦単（2 回戦まで）
 - 17：00 競技終了（予定）
 6 月 1 日（日）
 - 8：00 開場
 - 9：00 競技開始 個人対抗戦単・複（決勝まで）
 - 16：00 競技終了（予定）
- 8 競技種目 学校対抗戦および個人対抗戦（単・複）
- 9 競技規則 令和 7 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程による。
- 10 使用器具 （公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具および令和 7 年度第 1 種検定合格水鳥球を使用する。
- 11 競技方法
 - 1) 学校対抗戦は各校 1 チームとする。但し、県協会に団体登録した分校は独立校とみなす。
 - 2) 個人対抗戦は、各地区大会で県大会出場権を獲得した者に限る。
 - 3) 学校対抗戦・個人対抗戦とも、トーナメント戦方式による。学校対抗戦は 3 位決定戦を行わないが北信越大会出場のランク決定戦を行う。個人対抗戦はベスト 4 による 2 位決定戦を行う。
 - 4) 学校対抗戦は 2 複 3 単で行い、試合順序は、複 1－複 2－単 1－単 2－単 3 で実施する。但し、単 1 は複を兼ねられない。
 - 5) 試合の進行状況により、コートを併用して行うことがある。
- 12 引率・監督
 - 1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第 7 8 条の 2 に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。
 - 2) 監督・コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
※但し、公立学校は、引率・監督がこの基準により限定された範囲内であれば、新潟県または新潟市の規程に従うことを原則とする。
- 13 参加資格
 - 1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程）に在籍する生徒であること。
 - 2) 選手は、本連盟に加盟している高等学校（中等教育学校後期課程）に在籍する生徒であること。
 - 3) 選手は、各高等学校（中等教育学校後期課程）の教育計画に基づいて行う課外活動に位置づけられた運動部（当該種目）の部員であること。

- 4) 上記3) に該当しない生徒を選手として参加させる場合は、会長の承認を必要とする。
- 5) 選手は、平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認をする。) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- 6) ア チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
イ 特例として、全日制課程が定時制課程に改組された場合は、改組後2年間に限り、混成を認める。
- 7) 統廃合の対象となる学校については、該当校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- 8) 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。) 但し、一家転住などやむを得ない場合は、会長の認可があればこの限りではない。
- 9) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、また、在籍する校長の承認を必要とする。
- 10) 参加資格の特例
ア 上記1)、2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと会長が認める生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ 上記5)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
ウ 上記アの別途定める規定は、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に準ずる。
- 11) (公財)日本バドミントン協会ならびに新潟県バドミントン協会に、本年度の加盟登録をしていること。
- 12) チームの構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名とする。(マネージャーは選手を兼ねることができる。) 監督・コーチはすべて校長が認める者とし、生徒は不可とする。
- 13) ア 個人対抗戦の選手は、各地区予選を経て代表権を得た者とする。
イ 所定の出場枠に加え、令和6年度新潟県高等学校選抜バドミントン大会個人対抗戦(単・複)の上位2位の選手が所属する地区へそれぞれ1枠ずつ出場枠が与えられる。
ウ 今大会各地区代表選手数は下記により代表権が与えられる。

(複)新潟7 上越5 中越6 下越佐渡6

(単)新潟7 上越5 中越6 下越佐渡6

- 14 申込方法 1) 新潟県高体連バドミントン専門部HPの“大会申込書”をクリックして大会参加申込書および振込確認票をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記宛に郵送すること。

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2丁目635番地

県立新潟高等学校 高橋 叔子 宛

TEL (025) 266-2131

FAX (025) 267-7795

- 2) 主管校の作業簡略化のため、大会参加申込書は下記アドレスにメールでも申し込むこと。
メールの件名は「県総体女子申込み」とし、ファイル名は「〇〇高校」とすること。

新潟県立新潟高等学校 高橋 叔子 宛

メールアドレス takahashi.yoshiko@nein.ed.jp

- 3) 大会参加料は別途下記口座に振込むこと。その際、振込受領証の写しを振込確認票に添付すること。

振込み名は「バド〇〇高校」とすること。

指定銀行 第四北越銀行 白山支店 店番号 231

口座番号 普通 1595518

口座名義 県立新潟高等学校高体連大会運営費

- 4) 申込締切 令和7年5月8日(木) 正午必着

不参加の場合も、その旨ご連絡ください。

- 15 大会参加料 生徒1人1,000円(マネージャーを含む)を参加申込みと同時に納入すること。
高体連加盟校以外の学校の生徒は1人1,600円とする。

- 16 表彰 1) 学校対抗戦で優勝した高等学校には、新潟県高等学校体育連盟より優勝旗を、準優勝の高等学校には専門部より準優勝杯を授与する。個人対抗戦で優勝した選手には、専門部より優勝杯を授与する。
2) 学校対抗戦および個人対抗戦ともに3位まで大会会長より賞状を授与する。
3) 優勝チーム出場選手には大会会長より賞状を授与する。
4) 優勝旗、準優勝杯、および個人対抗戦の優勝杯は、次期大会に返還する。

- 17 宿 泊 1) 別紙宿泊要項を参照のうえ、宿泊申込書と大会申込書を同封すること。
※申込後の変更については直接宿泊先と連絡をとること。
- 2) 申込後の問合せ先 新潟市旅館ホテル協同組合 TEL (025) 228-5225
- 18 上位大会参加資格
学校対抗戦1位チーム、個人対抗戦(単・複)1・2位は全国高等学校総合体育大会に出場でき、学校対抗戦1～3位のチームは北信越大会に出場できる。
- 19 大会運営会議・組み合わせ会議(各地区から選出された専門委員による)
- 1) 日時 令和7年5月15日(木) 10:00～
- 2) 会場 新潟青陵高等学校
- 20 監督会議 1) 日時 令和7年5月30日(金) 8:40～
- 2) 会場 新潟市亀田総合体育館会議室・新潟市豊栄総合体育館会議室
- 21 その他 1) 服装
ア 競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品の競技用ウェアおよびシューズとする。
イ 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部(公財)全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。
【上段:学校名、下段:都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケンの場合の文字の色は、黒い色または濃紺色とする。)

30cm程度		
6～10cm	学 校 名	20cm程度
6～10cm	都道府県名	

- 2) 本部用意のシャトルがなくなり次第、各校持ち寄りとする。
- 3) 学校対抗戦初回戦のオーダー用紙は、大会初日5月30日(金)の9:00までに本部に提出すること。
- 4) 昨年度の優勝校は優勝旗を、準優勝校は準優勝杯を、加えて個人対抗戦の優勝杯を該当校が開会式会場で返還すること。
- 5) 学校対抗戦の選手変更届は、大会初日5月30日(金)の8:30までに本部に提出すること。
- 22 付 記 1) 大会に参加する生徒は、必ず引率責任者が引率し、参加生徒の行動に対して責任を負うものとする。
- 2) 大会に参加する生徒の競技上の疾病および傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。(医療機関への経費は個人負担とする。)
- 救急病院: ○亀田第一病院 5月30日(金)～6月1日(日)
新潟市江南区西町2丁目5-22 TEL (025) 382-3111
○豊栄病院 5月30日(金)のみ
新潟市北区石動1丁目11-1 TEL (025) 386-2311

★国スポ候補選手の選考について

①候補選手の選考大会

- ・本大会と「第2回国スポ候補選手選考会(少年の部)」の2大会とする。

但し、本大会で選考された候補選手は、「第2回国スポ候補選手選考会(少年の部)」には出場できない。

②候補選手の選考

- ・候補選手の選考にあたっては各種別共にダブルスとシングルの総合力をもって選考する。したがって、両種目にエントリーしていない者は選考から除外する場合がある。
- ・選手強化委員会が3名以上を候補選手として、両大会の閉会式時に発表する。

③正選手の決定

- ・国スポ候補選手対象の強化練習会を重ねていく中で種別監督が選手強化委員会に諮り、正選手3名を選考し、理事会の承認を得ることとする。

④その他

- ・日本代表選手として海外遠征、その他関連行事に参加のため、やむなく選考2大会を欠場する選手が出るなど特殊なケースが発生した場合は、別途理事会で協議する。